

六ツ美中部小学校
校長室だより
令和5年5月25日



第2号

いつもここに元気な子

なのはな



六中小
ホームページ

自分たちの手で「楽しい学校」にする ～運動会に新種目を！～

6年生代表委員の要望で、運動会のプログラムに、彼らが企画する種目が新しく入りました。「**みんなが楽しめる種目にする**」というのが唯一の条件で交渉成立。この条件を踏まえ、何をするか、どのように運営するかなど、ゼロから4人で考え、やり抜きました。「楽しい学校にする」「みんなを楽しませたい」という、彼らの**内発的動機がパ**



ハンターに追いかけるスリルがたまりません

ワーの源でした。代表委員会を担当する森教諭のサポートがあったとは言え、本番での**あの盛り上がりやみんなの笑顔を作り出したのは、紛れもなく彼らの力**でした。

今後も、学級活動、委員会活動、学校行事等で、子供たちが「**当事者意識**」をもって様々なことに挑戦できるよう、支えていきます。



学校の主役は子供！

第1回六ツ美中部小学校学校運営協議会を開催しました ～コミュニティ・スクール～

コミュニティ・スクールとは、**学校運営協議会を設置した学校**のことを言います。本校は、学校運営協議会を設置する学校として、岡崎市教育委員会から市内で1番最初に指定を受けていました。今年度4月末に、岡崎市教育委員会から委嘱を受け、本校の学校運営協議会委員が決定しました。メンバーは、右のとおりです。そして、5月20日（土）の午後に、第1回六ツ美中部小学校学校運営協議会を開催しました。岡崎市学校運営協議会規則第12条の規定により、委員の互選で、会長は天野さん、副会長は大久保さんに決定しました。

令和5年度学校運営協議会委員

会長	天野 幹康（本郷）	社会教育委員会顧問
副会長	大久保 勇（上合欽木）	社会教育委員長
委員	松原 秀敏（下三ツ木）	総代会長
委員	太田 明秀（下青野）	P T A会長
委員	鳥居 弘子（下合欽木）	元小学校長
委員	神谷 敦仁	六ツ美中部小学校長

コミュニティ・スクールは、「何をするか」から始まるものではありません。**学校、家庭、地域が「どんな子供に育てほしいか」という、ビジョンを共有**することから始まります。その**ビジョンは、本校の教育目標**です。先日の学校運営協議会では、天野会長の議事進行により、私から学校運営に関する基本方針として、**本校の教育目標を説明**させていただきました（裏面）。そして、**承認されました**。これまで、学校



学校、家庭、地域が協働して学区の宝を育てていきましょう

の教育目標に関して、この「承認」というプロセスはありませんでした。この点が、これまでと大きく変わった点です。家庭や地域、学校の代表者で構成される学校運営協議会において、このプロセスを経ることで、**六ツ美中部学区全体が、子供を真ん中にして「共有のビジョン」をもつことにつながる**のではないかと考えます。

本校においては、承認いただいた教育目標の具現化に向けて、教職員が一丸となって、**家庭や地域と協働しながら、教育活動を推進**してまいります。



地域の方の協力で充実した体験活動が実施できます

学校運営に関する基本方針

(1) 本校の教育目標

校訓「誠」の精神を支柱に、「**いつもにこにこ元気な子**」をスローガンに掲げて、次のようなめざす子供像をもって本校の教育目標とする。

- ・ **べんきょうがだいすきな子** (確かな学力の育成)
- ・ **うんどうがだいすきな子** (たくましい体力の育成)
- ・ **ちゅうぶがだいすきな子** (心豊かな子の育成)



(2) 経営方針

＜**誰一人取り残さず、全ての児童の可能性を引き出す「魅力ある学校」をつくる**＞

ア 共生社会の実現に向けた教育の推進	イ 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
ウ 特色ある運動を取り入れた活動の推進	エ 家庭と連携しながら、子供の心身の健康を保つ取組の推進
オ 地域とともにある学校づくり	カ S D G s を踏まえた特色ある教育活動の展開

(3) 本年度の重点努力目標

べんきょうがだいすきな子を育てる

- ・ 子供が自分の考えや思いを表出する機会が増えるように、安全・安心な居場所づくりとともに、**教材教具、展開、形態、教師支援等の視点で、授業改善**を図る。
- ・ 学びに向かう力、人間性等を涵養するため、**子供を信じて待つ姿勢**を大切にするとともに、授業においては、**自分の学びを振り返る活動**を大切にする。

うんどうがだいすきな子を育てる

- ・ 体育の授業において、種目や教材の開発、準備運動の方法や指導方法の工夫をするとともに、長放課等に運動場で体を動かして遊ぶ機会を増やす工夫をする。
- ・ 体を動かす喜び、できるようになる喜びを実感できるよう、**竹馬、一輪車、縄跳びなどに取り組む機会**をつくる。
- ・ 担任と養護教諭が連携し、**子供の基本的な生活習慣の確立に向けた取組**を図る。

ちゅうぶがだいすきな子を育てる

- ・ **地域の方から学ぶ活動や、地域の方とともに行う活動、地域の自然を見つめたり、体験したりする活動を充実**させる。
- ・ 子供の自己肯定感や自己有用感を育むため、学級活動、委員会活動、ペア・グループ交流、兄弟学級・保育園・中学校等との異年齢交流において、**子供の主体的・意欲的な活動を展開**する。
- ・ 長期欠席の未然防止対策における「居場所づくり」や「絆づくり」の視点で、**学級活動や委員会活動、学校行事等を充実**させる。

働き方改革にかかる業務改善

- ・ 教職員が「やりがい」を実感できるよう、教育目標の実現のために**教職員一人一人が取り組む教育活動を認め、任せる**。
- ・ 困ったことはなんでも相談できるよう、**安心安全な職員室づくり**に努める。
- ・ **管理職による面談や研修**を行い、効率的な仕事の進め方、優先順位のつけ方、業務の目的や目標の明確化など、在校時間の自己管理意識の醸成を図る。
- ・ 教職員の協力体制により業務の質を高め、教職員の心身の健康を守る。